



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議員

発行：日本共産党高槻市議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.58 2016年1月



濱田市長へ 2016年度予算要望を提出

12月14日 共産党議員団は濱田市長に20点の重点要望とともに、7つの柱、106項目の予算要望書を提出しました。消費税の増税が言われ、社会保障がどんどん、切り捨てられるなか、地方自治体の努力だけでは困難な点もあります。「市民の利益を第一に考える予算を」と要望しました。

私は、障がい者の
タクシー利用券の所
得制限を元通りにも
どすように訴えまし

た。子どもが支援学
校に通っているお母
さんから、お聞きし
ました。「子どもは
歯が痛くても自分で
訴えることはできな
い。また近くの歯科
医院では診てもらっ
ことは無理なので、
今までは定期的にお
腔センターまで行っ
ていた。しかしタク
シー利用券がなく
なっていて今は行くのを
減らしている」と。
また、外出を減らし
ている人もいます。
世帯に複数の障がい
者がおられる場合も
あります。通院のタ
クシー利用負担は本
当に大変です。窓口
での相談や、それぞ
れの状況をみて判断
してほしいと要望し
ました。

福祉企業委員会が開かれる

12月7日、福祉企業委員会が開かれました。以下わたしの質
問です。

後ディサービス事
業による扶助費
が、46,855,
000円あげられま
した。

◎公立の就学前児童
施設のあり方を調
査・審議するために、
高槻市子ども・子育
て会議の委員を新た
に1人増やして1人
にするということが
提案されました。今
回増やす委員は当該
施設を利用して
保護者として、PT
A協議会からの推薦
を受けるとしていま
す。
公立の就学前施設
というのは、幼稚園・
保育所・認定子ども
園があります。これ
から、「幼保連携型
認定子ども園」への
移行が考えられるな
か、実際に幼稚園や
保育所に子どもを預
けている保護者の意
見がどうしても必要
になってきます。委
員にはぜひ、そとい
う人を採用するよう
に、要望しました。
また、当該施設を
利用している保護者
の意見をアンケート
などで反映してほし
いと要望しました。
市としても検討し
ていくという答弁で
した。

◎補正予算で放課

このことについて
質問しました。
新規の事業所が4
箇所開設されたとい
うことです。しか
し、利用者が増えた
ため、一人当たりの
利用日数は増えてい
ません。一ヶ月の一
人当たりの利用日数
は6.1日というこ
とです。
放課後ディサービ

表面のつじき

又は障がい児の発達支援という位置づけがあります。6. 1日の利用では日常的に安定して利用できるようにはなっていません。また放課後デイサービスは保護者にとっても子育ての悩みを相談できる場所でもありません。利用日数を増や

したいという保護者の声もお聞きしています。放課後デイサービスの認可は府がします。これからも事業所は増えてくると思います。社会福祉法人だけでなく、株式会社などの営利企業も参入してきています。保護者に話を聞

くと、事業所によって接遇の内容が違います。本当に一人ひとりの障害に寄り添ってくれるところは少ないとも言われています。私は、市としても保護者の要望を聞いたり、接遇などの調査をすること、また、実績のある事業所や



社会福祉法人などに、放課後デイサービスの事業拡大を要望してほしいと求めました。

三島救命救急センター、国が急性期の病床削減方針

2014年度の診療報酬改定では、「7対1看護」（入院患者7人に看護師1人）という最も手厚い看護体制の病院に与えられる入院基本料の基準が、厳格化されることになりました。急性期医療としてひとくりにされてきたものを、よ

り高度な医療を担う病院と、そうでない病院とに区別するために基準を厳しくするものです。急性期とは、病気を発症して間もなく、救命や、急激な病気の進行を防ぐための手術などの治療が必要とされる時期のことです。

今回の改定は、看護体制のほか医療行為などの条件も加えることで、対象を「高度な急性期」に絞る狙いで、現在36万床あるのを2年間で27万床に減らすことを目指すとされています。国が昨年9月の社会保障審議会に示した2025年

の一般病床の再編イメージでは、高度急性期は18万床とされていますので、半減される構想です。



夜間休日応急診療所

2013年4月から三島医療圏（高槻市、茨木市、摂津市、島本町）の小児救急医療体制を広域化し、夜間や休日の軽症の小児救急患者で搬送先の指定がない場合は、原則とし

て同診療所へ搬送されることになりました。2014年4月からは、患者数が多くなる午前0時までの間、小児科を2診体制に拡充していま

応急診療所の患者が増え、特に年末年始、連休などは患者がふれ、待合室、駐車場が足りずに混雑しました。施設としての対応には、無理があり、根本的な対応が求められます。

高槻市保健所になって13年

2003年4月1日に大阪府から高槻市保健所になりました。保健所の業務を大阪府から引く継ぐために2014年4月までは、大阪府の職員が残り、ノウハウの継承に力を尽くしていました。保健師は経験が大事です。いろんな場合の対処など保健師同士の交流の中で、学んでいくことも多くあります。大阪府の

経験をもった保健師は大きな力になります。今は、世界的な規模で人が動く中でエボラ出血熱や長い間感染例がなかったデング熱の感染例もあり、適切な対応が必要です。広域的な対応になるので大阪府の責任が大きいと思います。

